

平成30年度 事業報告

自30年 4月 1日
至31年 3月31日

愛宕南学童クラブ
落合第二学童クラブ
諏訪南学童クラブ
愛和小学童クラブ
西落合小学童クラブ
東落合小学童クラブ

社会福祉法人こばと会

30年度 事業報告

学童クラブ（愛宕南・落合第二・諏訪南・愛和小・西落合小・東落合小）

今年度は、地域や保護者の要請で急遽年度の途中で施設が完成する東落合小学童クラブを受託することになった。当所は、既存の落合第二学童クラブで2年生以上の子どもたちを預かり1年生だけは、学校のランチルームを仮施設として収容した。施設の7月完成と共に東落合小学童クラブ（定員80名）と落合第二学童クラブに分かれることになった。職員も子どももシャッフルされるなどなかなか変則的な運営となったが、児童青少年課、東落合小学校、保護者などの理解と協力のもと無事運営する事が出来た。しかし想定通りだったが、落合第二学童クラブの在籍児童が減少し3年生4年生の男子だけの構成となり育成に工夫が必要だった。今後も少人数での運営になり将来的には東落合小学童クラブに吸収される可能性が高く計画的な運営を考えなくてはならないと考えている。

学童全体では、理想的な職員配置（男女の構成、経験のバランス、年代のバランスなど）を目指して職員異動を行った。新規職員や臨時職員の補充に関しては、募集しても応募が少なくなかなか難しくなっている。

職員研修では、職員のレベルアップを図るためにまず施設長の研修を兼ねて毎月「こぼと塾」を開き昨年の法人研修で行なった理念の見直しを徹底的に行った。そしてその成果を法人研修で発表することでそれぞれの職員の考え方や仲間意識が向上してきている。

放課後児童支援員認定資格を持った職員を2名以上配置することが義務付けられている。今年度も、資格認定研修に各学童クラブから複数名が参加し資格を得た。これによって40名に2人の要件を各施設ともみたすことが出来た。

各施設報告

愛宕南学童クラブは、施設長の交代と職員の異動があつたが、今年度も「子どもが主体になって遊びを展開出来る」ことを日頃の育成のなかで意識した。職員間で支援目標や方法話し合い、子どもに対して「同じ目線」「同じ対応」ができるように日々の臨職さんとのミーティングの中で共有し協力し合うことができた。年間行事を予定通り遂行でき、父母会共催行事も児童や保護者の出席率が良く親子親睦や職員との交流の機会になった。昼食会やお買い物、流しそうめんなどの行事を多く計画し昼食を提供できたことは保護者の負担軽減につながった。今年度初めてのとりくみとして、保護者が子どもたちの昼食をつくってくれる昼食会を行い、交流を図ることができた。今年度の意見や反省を生かして来年度以降回数を増やせるとよいと考えている。担任の1年生個別支援児の学童クラブへの登所の付き添いや、3年生男子間のトラブルの対応など、子ども一人一人の成長に向けて小学校、家庭と連携し、話し合いの時間を設けた。職員間での研修報告や学習結果を基にした勉強会や臨職さんを含めての情報交換や話し合い、振り返りの時間を作って定期的に行うことができなかつたことが反省である。

落合第二学童クラブは、今年度7月から東落合小学童クラブが開所したことにより、在籍児童数が15名となった。子どもたちにとっては、少人数の育成になったことで周囲からの刺激が少なくなり、配慮の必要な児童も落ち着いて過ごす様子が多く見られた。トラブルがあつても個別に対応ができることで気持ちを言葉で伝えることができるよう対応し、表現するスキルの向上に努めた。また、職員間でも子ども、保護者にできることを考え、保護者の長期休業時のお弁当作りの負担を考慮し計五回の昼食会を行った。子どもたちへは卒クラブ制作を行い、地域自治会の集会所へ木製ベンチを寄贈した。

訪南学童クラブは、今年度より北諏訪小学童クラブの定員枠が広がったことで、北諏訪小学校学区の待機児童は解消された。諏訪小学校学区において、マンション「ブリリア」の就学を迎えた子どもが多くいることから、諏訪学童クラブでは定員を超える申請があり、第2希望の受け入れ先として諏訪南学童クラブが役割を担うことになった。「かがやきプログラム」を育成の柱に置き、2、3年生が学童クラブで生活していく上での約束を確認した。外遊びでは遊びの区画を作り、遊びの種類や人数に応じて遊びを展開した。また、全員外で遊ぶ日を作り、縦割りグループでドッジボールを実施。グループの上級生を中心に作戦会議していた。屋内での活動では夏休みに、職員が入り学童クラブにある様々なボードゲーム類をした。この経験を積み重ねることで、子どもたちだけでゲームを楽しむ姿が見られるようになった。次年度は、新規継続の3年生が多く入ることが予想される。今年度通して培われたものを基本にしながら、子どもの人数に合わせた育成室の環境設定を行っていきたい。

愛和小学童クラブでは、今年度も84名定員でスタートした。常勤職員の年齢や経験値が低く、十分な育成とは行かなかったが徐々にチームワークが出てきた。1年生は、1カ月にわたって「かがやきタイム」を行ない集団の中でのソーシャルスキルを育ててきた。上級の学年にも良い影響が出始めてきている。子どもたちが自分たちでルールを決めるなどなるべく自主性を尊重し子どもたちを信じて育成を展開した。環境設定にも気を配り過ごしやすい環境や落ち着ける居場所のスペースを確保した。放課後教室との連携については、児童館・学童クラブを含め協力体制を整え行なってきたところだが、昨年度の週5日開催される放課後教室で過ごす時間が長くなるにつれ、学童クラブが持つ生活支援が行き届かない状況になったため放課後教室を週3回に変更した。その結果、学童クラブの育成とのバランスが良くなった。行事は、前年度に付け加えてお散歩やお買い物などを追加したが、中々好評で来年度も継続したい。

西落合小学童クラブは、配慮児にわかりやすい環境づくりを目指し話し合いをすすめてきた。曖昧なルールは作らず集合時や10分間勉強、読書の時間など徹底した一斉指導を行ない習慣付を行った。外遊びは、集団で遊ぶことを目的にしてボールの数を制限した。20名以上が参加するドッジボールは毎日継続して行われていた。児童数・職員数が多いために情報共有の難しさがあり、毎週金曜日には、週の振り返りを行ないKPTを使用した。子どもや職員に対して決められたことが多く、わかりやすい環境ではあるが子どもに合わせる柔軟性も持ち合わせるとより良いと感じている。

東落合小学童クラブは、本年度、委託され東落合小学校敷地内に新設運営することになった。施設完成までの3か月間は小学校のランチルームにて1年生30名の育成。上級生60名は落合第二学童クラブに分かれての育成となった。小学校では授業に支障が出ないように騒音や子どもたちの動線などに配慮した。7月開所。本学童クラブ、定員80名。3学年合同での育成が始まった。年度途中で学童クラブの移動はあったが、学童児や保護者に不安や混乱は見られなかった。新しい環境に慣れ、学童クラブ生活が楽しい居場所となるような育成を心がけた。

自主的な活動に繋がるような声掛けをしたことで子どもたちから次から次へと意欲的な遊びをしないと提案がされた。遊びが充実したことで、些細な喧嘩がなくなり、不適切な行動が減ってきた。生活面でも、声掛けをしなくても生活の準備ややるべき宿題も自主的にできてきた。帰りの会では落ち着いて着席、集合することができている。学校内に支援学級があることから、固定学級の学童児の入所が増えてきた。強い特性のある子が数名いる。支援方法については職員全員で打ち合わせを行い、対応の検討、共通認識のもと見守りを続けている。職員の専門性が求められる。

施設運営

【愛宕南学童クラブ】

職員数	定員 (58名)	在籍児童 (56名)	加配
常勤 3名	一年生	16名	通常3名
非常勤(6H) 1名	二年生	22名	通常6名
時職員(4H) 5名	三年生	15名	通常4名
	四年生	2名	
	五年生	1名	個別1名

【落合第二学童クラブ】

職員数	定員 (70名)	在籍児童 (15名)	加配
常勤 2名	一年生	0名	
非常勤(6H) 1名	二年生	5名	通常1名
臨時職員(4H) 3名	三年生	9名	個別1名
	四年生	1名	

【諏訪南学童クラブ】

職員数	定員 (60名)	在籍児童 (56名)	加配
常勤 3名	一年生	4名	個別1名
非常勤(6H) 1名	二年生	16名	通常1名
臨時職員(4H) 5名	三年生	31名	通常1名 個別3名
	四年生	5名	

【愛和小学童クラブ】

職員数	定員 (84名)	在籍児童 (82名)	加配
常勤 3名	一年生	30名	通常4名
非常勤(6H) 2名	二年生	28名	通常6名
臨時職員(4H) 9名	三年生	20名	通常6名
	四年生	4名	

【西落合小学童クラブ】

職員数	定員 (120名)	在籍児童(115名)	加配
常勤 5名	一年生	51名	通常8名 個別5名
非常勤(6H) 6名	二年生	26名	通常2名 個別1名
臨時職員(4H)12名	三年生	35名	通常2名 個別1名
	四年生	3名	

【東落合小学童クラブ】

職員数	定員 (80名)	在籍児童(77名)	加配
常勤 3名	一年生	31名	通常1名 個別2名
非常勤(6H) 2名	二年生	26名	通常1名
臨時職員(4H)12名	三年生	19名	個別2名
	四年生	1名	

月別開所予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
24	24	26	25	26	23	292
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	23	23	23	25	

30年度 学童部門年間報告

	法人	施設長会議	学童会議
4月	4/12消防署表彰 4/17居場所事業提案	4/20 幹部会 4/26 施設報告 年間予定	4/26 新体制・KPT
5月	5/ 8諏訪商店街説明会 5/22施設視察	5/11 幹部会 5/25 理事会提出資料	お休み
6月	6/ 5理事会 6/26東落合小受託	6/ 4 施設長会議 6/22 幹部会	6/15 対話と会話の違い
7月		7/13 施設報告 夏休みの予定	7/17 健全な意志決定
8月		8/21 こばと塾(理念の見直し) 8/31 こばと塾(理念の見直し)	お休み
9月	9/18 理事会	9/14 こばと塾(理念の見直し)	9/11 脳科学 認知行動 道徳観
10月		10/19 こばと塾(理念の見直し)	10/12 道徳観の実践 アタッチメント
11月	11/22 ハーモニー総会 11/22 保幼小合同研修	11/ 7 こばと塾(理念の見直し) 11/ 9 こばと塾(理念の見直し) 11/30 こばと塾(理念の見直し)	11/26 学童クラブの役割
12月	12/18 理事会	12/ 7 こばと塾(理念の見直し)	12/14 道徳観と倫理観
1月		1/18 こばと塾(理念の見直し) 1/23 こばと塾(理念の見直し) 1/30 こばと塾(理念の見直し)	お休み
2月	2/10 法人研修	2/15 法人研修振り返り 2/25 次年度予定	2/25 法人研修の振り返り
3月	3/15 理事会	3/15 30年度職員配置	お休み